

進路パスポート

～みなと高等学園版～

記入例

1年生進路目標 自分のことを知ろう（自己理解）

- ・自分がどんな風に働けたら良いか理想の状態を考える（働くことの意識づけ）
- ・「働く（職業生活）」の基本となる知識や態度を身につける
- ・自分に何ができて、どんな働き方が合っているのかを知ろう（自分の能力や適性について知る）

2年生進路目標 自己の課題の探求

- ・就労に向けた自己の課題を認識する
- ・主体的に働こうとする意欲を高める
- ・自己の適性に応じた進路の方向性を決定する

3年生進路目標 自己実現

- ・進路を決定する
- ・職業や社会生活に対する実践力を身につける
- ・卒業後の生活に見通しを持つ
- ・卒業後の生活に見通しを持つ

働く（実習）上での自分の特徴や希望する配慮などを整理し、現場実習に向け、また、卒業後の就労に向け、学校や職場と必要な支援などについて話し合う際に活用できる情報共有ツールです。

振り返りを行い、より正しく自分のことを伝えるツールとするため、現場実習、進路相談の場面で活用します。また、就労後の振り返りの場面等で活用し、仕事の安定と、職場での情報共有ツールとして活用します。



進路パスポートの聞き取りポイント

「Teacher」から「facilitator」へ

=「教える」から「調整を手助けする」のが教員の役割

教員のマインドセットを変える

1 受容的に聴く

オープンクエスション、意見をまず聞く、軽やかに受け流す
感情の整理が大切、答えは自らが持っている
ネガティブな行動は肯定せず、気持ちを肯定する

2 アセスメント（分析）しながら聴く

心は温かく頭は冷たく、必要な教育的配慮は何
どんな支援があればいいのか
→支援が必要なことは、改めて万全の準備をして、「学習」の場を設定する

3 自己選択自己決定を促す

可視化で振り返りを促す

4 エンパワーする

ポジティブな言葉 ネガティブな表現を言い換える特訓

就業体験、授業、行事をふまえて

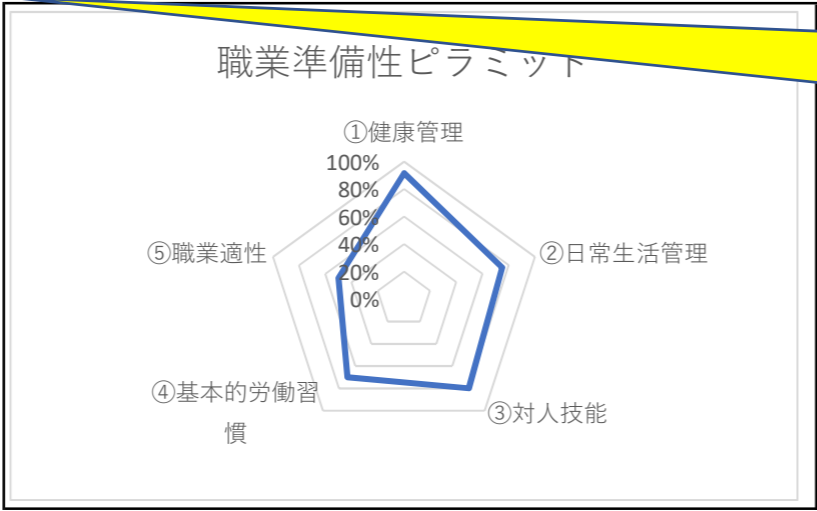
①各場面での本人の得意、不得意、配慮が必要なことや先生が気づいたことについて、客観的に捉えられるように説明し、本人が気づけるように話しながら整理してください。

②どのような手立てがあれば、うまくいったかを本人と確認し、整理してください。

③実習等で課題になったことについて、手立てや工夫で解決できるのか、練習で解決できるのか、解決は難しいのかを振り返りながら整理してください。

＊厚生労働省「就労パスポート」をみなと高等学園版にしたものです。

ふりがな	みなと うみこ
氏名	港 海子
住所 (市町村名)	阿南市那賀川町
障がい名 (診断名)	自閉症スペクトラム障害 注意多動性障害 知的障がい
障がい者手帳 (種別)	療育手帳B2



セルフチェックシート(各学年)と職業準備性ピラミットのデータの選択ができます。

将来の生活についての希望			
本人	卒業時	暮らす	自宅
		働く	〇〇株式会社
	3年後	暮らす	グループホーム(阿南市内)
		働く	〇〇株式会社
保護者	卒業時	暮らす	自宅
		働く	有限会社△△
	3年後	暮らす	一人暮らし
		働く	△△有限会社

未定の場合は自宅で記入してください。

具体的な進路希望がない場合は、一般就労や就労継続支援A型などの就労形態や、製造業や清掃業などの職種で記入してもかまいません。

1. 実習経験

	校内実習	
1年前期	木工班	研磨作業、組み立て
1年後期	木工班	研磨作業、組み立て
2年前期	ビルメン班	ダスタークロス、ポリッシャー、トイレ掃除
2年後期		
3年前期		
3年後期		

必要な項目のみ印刷することができます。

	現場実習	
1年後期	就労継続支援A型事業所株式会社〇〇〇	車の部品パーツ磨き
2年前期	△△化学株式会社	清掃業務
2年後期		
2年後期		
3年前期		
3年夏期		

必要な項目のみ印刷することができます。

3年後期		
------	--	--

2. プロフィール				関連する項目
働く	得意な作業	清掃（モップ・ダスタークロス）		
	苦手な作業	研磨		
	仕事上のアピールポイント	・挨拶が元気よく出来る ・こつこつ作業に取り組める ・体力がある ・同じ作業を繰り返し行うことが得意 ・Excelが得意 ・休まない		
くらす	食事	平日は規則正しい食生活ができている 休日は、朝食を食べていないことがある		
	睡眠	平日は、6:30起床、23:00就寝 休日は、寝るのが遅くなることもある		
	生活リズム	安定している		
楽しむ	趣味・特技	趣味 動画鑑賞 特技 ランニング		
	好きなもの			
	嫌いなもの	大きな音が苦手	4	
性格	長所	誰にでも挨拶ができる 声大きい		
	短所	失敗すると落ち込んでしまうことがある		

作業のスキルについて 実習先に合わせて、掃除のスキルや道具の利用、手先の器用さなどまた、同じ作業を継続することが得意や複数の作業がある方がよい等、得意・できる作業を記入してください。コミュニケーションを必要とする作業についても得意不得意がわかると実習先に伝えやすいです。更新をする中で、事業所の仕事内容に係るような内容や仕事の切り出しをしやすいような内容を記入してください。

特に働く上で必要なことを記入してください

・食事:3食食べることができているか。アレルギーの有無など

・睡眠:起床・就寝時間など

・生活リズム:安定しているかどうかの有無、特に就寝時間が遅い場合はその理由など。現在生活リズムと整えるために実践していることなどがあれば記入してください。

実習先でコミュニケーションのきっかけになるようなものや仕事につながるようなものを記入してください。余暇が充実しているかどうか分かるように記入してください。

進路パスポートの項目に関連する内容があれば、記入してください

特に働く上で参考になることがあれば記入してください

・性格的なこと、手先の器用さ、コミュニケーションに関することなど

3. 体調管理			
自分の特徴について ※あてはまることにチェック			自由記述
ストレス・疲労	不安や緊張いららなどを 感じる時は(ストレスなどを 感じやすい状況・場面)	*特にきっかけとなるものを記入 大きな声で注意を受ける	
	調子が悪くなったときどうなる (ストレスなどのサイン)	緊張して作業の手が止まってしまう。	
	調子を取り戻す方法(自分で する対処方法)	気持ちが落ち着くまで、休憩する(数分)	
調子が悪くなった時どうして欲しい(配慮してほしいこと)	穏やかな声で正しい方法を伝えてもらう		
服薬・通院	定期通院 頻度→	<input checked="" type="checkbox"/> 定期通院 頻度・曜日時間帯	<input checked="" type="checkbox"/> 通院のための休暇希望あり 毎月第3金曜日に通院
	服薬	<input type="checkbox"/> 服薬あり	→ 服薬管理のための配慮 <input type="checkbox"/> 希望あり
自分で対処していること	深呼吸をする、手や顔を洗う、好きなことをイメージする、水分を取る、 など(自分に合った対応方法)		

*作業中や休憩時間などにおいて、不安・緊張・イライラを感じたり、疲れを感じたりする状況・場面。また、体調に波がある場合、どのような時に不調になるか。

*ストレスや疲労を感じていることに気づくサイン。なお、このサインが「周りの人が見て気づくサイン」だと、変化に早めに気づき、初期に対応できる。
パニックの有無も必要に応じて記入してください

学校や家庭で取り組んでいることを記入してください。
配慮が必要なことがあれば具体的に書いてください(言葉かけの仕方やタイミング)

具体的配慮

処方法を見つけ記入)

配慮が必要なことがあれば具体的に書いてください(言葉がりの方法やタイミング)

4. 希望する働き方

自分の特徴について ※あてはまることにチェック		自由記述
1日の勤務時間	<input type="checkbox"/> 6時間前後	<例>慣れるまでは自分のペースで作業できると、取り組みやすくなります。 定期的に通院が必要なため、2ヶ月に1回、平日の休暇を取得できるよう配慮をお願いします。 人混みが苦手なため、遠回りでも混雑しない通勤経路を使えるよう配慮いただきたいです。 身長が高いので、高い場所の荷物の上げ下ろしができる。足首が硬く、しゃがんだ状態を長時間継続させることが難しい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 6時間程度	
	<input type="checkbox"/> 6時間以上	
1週間の勤務日数	<input type="checkbox"/> 当初から固定	
	週 <div>4</div> 日勤務を希望	
作業環境	苦手な感覚	<div><input type="checkbox"/> 特になし</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 音(人)</div> <div><input type="checkbox"/> 音(機械)</div> <div><input type="checkbox"/> その他 (</div> <div><input type="checkbox"/> 照明</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> におい</div> <div><input type="checkbox"/> 大きい音</div> <div><input type="checkbox"/> 閉所</div> <div><input type="checkbox"/> 屋外作業</div> <div><input type="checkbox"/> 高所</div> <div>)</div>
	希望する配慮	高い声が特に苦手。 人の話し声が気になる時は、耳栓を着用させていただけるとありがたいです。 苦手な音の種類(子どものない声、叱責するような声、雷など)やにおいの種類(シンナー、たばこ、特定の野菜や食品のにおいなど)は避けて欲しい。 など
休憩の取り方	<div><input type="checkbox"/> 静かな場所が良い</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 一人で過ごすほうが良い</div> <div><input type="checkbox"/> 特に希望なし</div> <div><input type="checkbox"/> その他 (</div> <div>)</div>	
	希望する配慮	昼休みはリフレッシュのために携帯電話で動画を見たいです。
仕事(業務)量や作業内容・方法、変更時の調整	<div><input checked="" type="checkbox"/> 口答指示</div> <div><input type="checkbox"/> 視覚的支援</div> <div><input type="checkbox"/> 特になし</div>	具体的内容→ <div>忘れないように、メモを取らせてください。</div>
仕事を安定するために必要な機器、設備の調整	既往症で定期的に通院が必要なため、2ヶ月に1回程度の平日の休暇を取得できるよう配慮をお願いします。 休憩時間は静かな場所で休めるとありがたいです。 パーティションがあると集中して作業に取り組みやすくなります。 など	

身長や体格、身体的なことなど、作業を行うために必要だと思われることを書いてください。

作業に支障をきたす程度のものがあればチェックしてください。
においや音、高い場所などの具体的なものについては希望する配慮に記入してください。
チェックした項目について、どの程度苦手なものなのか、配慮があればどの程度作業できるかなどを記入してください。

実習先や進路先に応じて、本人が必ず必要とする場合や、実現可能な範囲の合理的配慮を記入してください。
(休憩時間は、必ず一人で過ごしたい、昼食は一人で屋外で取りたい、食堂では壁に向かって食事をしたい・席を固定して欲しいなど)

口答指示では、メモの有無
視覚的な支援では、文字や写真などの具体的な支援内容を書いてください。

高3時就職に向けての実習段階では、残業・三交代勤務等、勤務時間の変更については段階を追って相談をしながらしていく等、卒業後を意識した点も記入してください。

5. コミュニケーション面

自分の特徴について ※あてはまることにチェック		自由記述
5-1 自分から相手とやりとりをするとき	仕事に関する会話	<例>臨機応変なやり取りは苦手ですが、決まっているものであれば、手順書等で対応することができます。興味のある事の話題についてのみたくさん話すことがあります。 など
	職場内の人との会話	
5-2 相手の気持ちや考えの読み取り(推察)	<div><input checked="" type="checkbox"/> 相手の話の内容、表情・身振り、声の調子をもとに読みとることができる</div> <div><input type="checkbox"/> 読みとりは苦手だが、質問して相手の気持ちや考えを確かめることができる</div> <div><input type="checkbox"/> 気持ちや考えは、言葉で明確に伝えてもらうほうがわかりやすい</div> <div><input type="checkbox"/> 相手の気持ちや考えを読み取ることは苦手である</div>	

項目5〜7は必要な項目のみ印刷することができます。

*自分から相手に対して言葉・表情などで意思を伝える(発信する)際の特徴について記入してください。
・コミュニケーション面での必要な手立て、マニュアル・指示書など具体的な手立てや、配慮事項について記入してください。

*相手の気持ちや考えを、表情・身振り・言葉などを通じて理解し、読みとる(推察する、受信・判断する)際の特徴について記載します。

コミュニケーションについて、本人が目標を持って取り組んでいることを記入してください。(声の大きさや、言葉遣い)

自分で対処していること
具体的配慮

ミスを防ぐため、付箋を点検箇所
に貼り付けたり、集中力が落ちないよう定期的に水分補給や身体を伸ばしたりする。

④安定した作業、質問・報告、共同作業など

6-7
安定した作業の実施

☐ 終日安定して作業に取り組める

☒ 途中で小休憩があれば1日

5

 時間、安定して作業ができる

☐ 集中力を維持するための取り組み・工夫策を持っている

タイミングや頻度（例：午前・午後に1回5分ずつ、90分ごとに5分など）

慣れるまでは1時間ごとに5分ぐらいの休憩があるとありがたいです。

6-8
作業にともなう確認・質問・報告

☐ 経験のある作業であれば、自力で対応できる

☒ 未経験の場合、タイミング・内容・相手などをあらかじめ教えてもらえるとい

☐ 担当者不在の場合の質問などの方法をあらかじめ教えてもらえるとい

6-9
他者との共同作業

☐ まわりの人と随時打ち合わせをしながら対応できる

☒ 役割分担が具体的にわかれば対応できる

☒ リーダーの指示がその都度あれば対応できる

☐ 自分のペースで取り組むことができれば対応できる

自分で対処していること
具体的配慮

報告するタイミング・内容・相手が不明な場合は自分から質問します。

⑤結果のふり返し、目標設定

6-10
結果のふり返し、目標設定

目標の確認

☒ 定期的にあるとよい

→タイミング

作業開始前

☐ 1日2回

☒ 1日1回

☐ 週1回

☐ その他

☐ 特に希望なし

仕事ぶりの確認

☒ 定期的にあるとよい

→タイミング

☐ 1日2回

☐ 1日1回

☒ 週1回

☐ その他

☐ 特に希望なし

モチベーションの維持・向上

☒ 何か必要あり→

自分が今できていること（具体的に評価）、次の目標（業務量、内容、など）についての相談と設定 など

☐ 特に必要なし

自分で対処していること
具体的配慮

<例>助言をもらったことを参考に、1週間の目標を決めるようにしています。

自由記述

・作業の正確さやペースを向上するために、本人が目標を持って取り組んでいることを記入してください。

・作業を正確に行うための配慮、モデリングや指示書の活用が必要かどうかも記入してください。

・安定した作業時間は支援者が直接支援していない状態での時間をで記入してください

・休憩時間について定時の休憩以外で配慮が必要なことがあれば詳しく記入してください

・安定した作業を行うために自分でしている工夫や、実習先にして欲しい配慮など記入してください。

・安定して作業を遂行するための指示書など具体的な手立てや、配慮事項について記入してください。

・モチベーションを維持、向上するための配慮事項があれば記入してください。

・モチベーションを維持、向上するためにするため自分で工夫していることや配慮事項、手立てについてについて記入してください。

7. 支援機関

利用している就労支援機関、福祉機関、医療機関などのうち、職場定着にとって重要と考えており、情報共有しておきたい機関を記入

支援機関名	連絡先	利用している支援の内容
ハローワーク〇〇	(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	求人応募に関する相談、職業紹介
障がい者就業・生活支援センター〇〇	(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	【職場との連絡窓口】定期的な職場訪問によるフォロー（月1回）
相談支援事業所□□	(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	生活面の福祉サービス等の相談先
△△病院	(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇	体調管理や不調時の対処方法に関するアドバイス

・その他、児童相談所や放課後等サービスなど、必要と思われる支援機関を記入してください。
・事業所等に渡すので、個人情報に気をつけて記入してください。

8. その他

・上記に該当しない内容や、どうしても知ってもらいたい情報などを記入してください。

・項目内に該当しない内容や、その他で特に配慮や支援が必要な内容を書いてください。
(例) トークンの活用について
身体的な部分で配慮は必要なこと
実習先で特に必要であると思われることなど

チェックについて（「5 コミュニケーション面」、「6 作業遂行面」の記載内容のうち、変化したと感ずる項目（番号）を記入→職場・学校の担当者と一緒に振り返りを）

チェック時期	変化したと感ずる項目
R . . .	6-7(1週間後に設定時間内にできるようになったので、次のステップに進んでいる)

・実習後や進パスディで更新した日時を記入してください。
・変化を感じた項目は、特に大きく変わったところを記入してください。

9 職業準備性ピラミッドについて

①健康管理（心と体の健康管理）

- 自分の長所と短所を知っている。
- 感情のコントロールができる。
- 身だしなみが整っている。
- 通院・服薬管理ができる。
- 毎日休まず登校（出勤）できる。
- 嘘や言い訳がなく、素直である。

②日常生活管理（生活の自己管理）

- 規則正しい生活習慣が身についている。
- 3食の食事をきちんと摂っている。
- 一人で公共交通機関が利用できる。
- 適切なお金の使い方ができる。

③対人技能（社会生活能力）

- 指示や指導を素直に受け入れられる。
- 指示を適切に理解することができる。
- 適切な言葉遣いや会話ができる。
- 時間を守って行動ができる。
- 適切な人間関係（トラブルなし）を築ける。

④基本的労働習慣（働くための基礎的な力）

- 意欲的に仕事に取り組むことができる。
- 人に見られなくとも、真面目に仕事に取り組むことができる。
- 職場のルールを守ることができる。
- 報告・連絡・相談ができる。
- 指示とおりの仕事をする事ができる。

⑤職業適性（働き続けるための力）

- 毎日同じことを続ける体力がある。
- 自分の仕事にやりがいを感じている。
- 正確に効率よく仕事ができる。
- 支援を受けながら働くことを受け入れている。
- 周囲に対して感謝の気持ちを持っている。

チェック

○

○

○

△

○

○

○

×

○

○

○

△

○

△

○

○

○

○

△

×

△

○

×

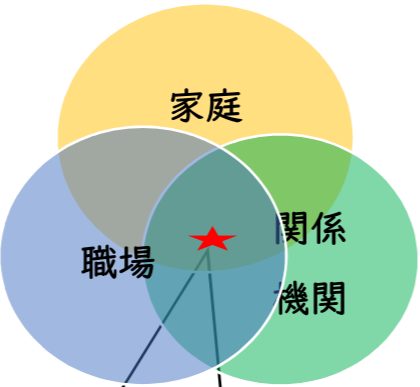
×

○

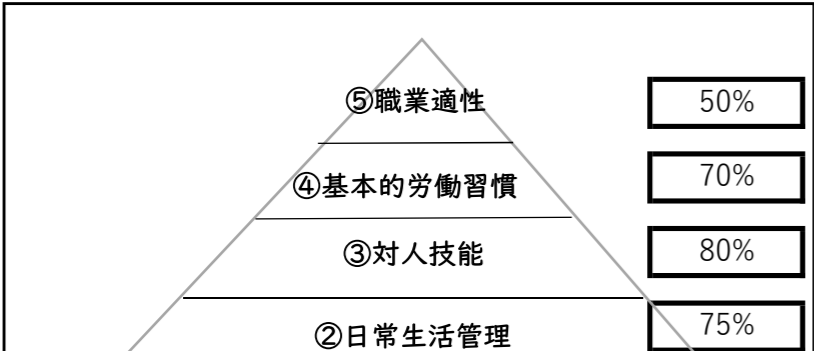
○・△・×で評価を入力すると、トップ画面のグラフと、ピラミットの達成率(%)に自動で反映します。

職業準備性ピラミットとは

障がいの有無にかかわらず、働く上で必要とされる基本的な能力を階層的に示したモデルです。
このピラミットは、個人が就労に向けてどのような準備やスキルを身につけるべきかを明確にし、特に障がい者雇用の重要な指標となっています。



- ・ 目標の共有化
- ・ 支援の共有化
- ・ 評価の共有化



①健康管 理	92%
--------	-----